

かいけん そ し だいこうしん はつてん
改憲阻止大行進の発展を

ぜんがくれん ろうどうくみあい だんあつふんさい じんみん いか あ べ だとう
全学連、労働組合への弾圧粉碎し、人民の怒りで安倍を打倒しよう

ねんとういつ ち ほうせん さんいんせんとうそう
19年統一地方選—参院選闘争へ

とうようだい だんあつ ふたりだつかん
東洋大ビラまき弾圧の2人奪還

いま せ かいじゆう ろうどうしや がくせい い つぎつぎ た あ たたか
今、世界中で労働者・学生が生きるために次々と立ち上がり、闘っている。

せ かいだいきようこう さいばくはつ せつぱく ていこくしゆぎ かん たいこくかん たいりつ せ かいせんそう き き
世界大恐慌の再爆発が切迫し、帝国主義間・大国間の対立が世界戦争の危機を

げきか なか こつきよう こ ろうどうしや こくさいれんたい たたか ぜんしん
激化させる中、国境を越えた労働者の国際連帯の闘いがしっかりと前進してい

る。11・4東京—11・10ソウルの国際共同行動に続いて、韓国・民主労総は11

・21ゼネストを闘った。日本でも星野文昭さんの解放を求める11・25高松闘争

の大高揚、東京特区連・清掃の賃下げ見送り、東洋大ビラまき弾圧2学生奪還

の勝利に続き、各地域・職場で改憲阻止闘争を前進させよう。何よりも全日本

建設運輸連帯労組関西地区生コン支部と全学連への新たな弾圧を徹底弾劾し、粉

砕しよう。

ほしの かいほう だいけつせん
星野さん解放へ大決戦に

かんこく しほん たい かい こてつかい げんしよくふつき とうそう たたか じんしゆろうそうきんぞくろう そ
韓国でAGC資本に対して解雇撤回・原職復帰闘争を闘う民主労総金属労組

あさひ ひせい きしよくし かい ろうどうしや とうそうげん ぼ おとず どうろうち ばほうかんだん つぎ かた
旭非正規職支会の労働者は、闘争現場を訪れた動労千葉訪韓団に次のように語

った。「私たちが闘い始めた当初は、労働者たちにすぐには受け入れられな

った。労働組合の役割が認識されていなかった。これは日本とも共通する。し

かし今は変わった。これからは闘いを拡大し勝つことが目標。必ず勝てると

いう強い信念だ。労働者は国境を越えてひとつだ。勝って勝利報告を日本・韓

こくりようほう
国 両 方 で や り た い

また 労組 つぶし の 大 弾 圧 と 闘 う 関 生 支 部 の 武 建 一 委 員 長 は、 獄 中 から 組 合 大 会 に 寄 せ た メ ッ セ ー ジ で 訴 え て い る。「(今 回 の 弾 圧 は) 関 生 型 運 動 は 資 本 主 義 の 根 幹 に 触 れ る と 見 た 権 力 中 枢 部 か ら の 攻 撃 だ。 攻 撃 が あ る の は、 関 生 が 敵 の 弱 点 に 刺 さ り 込 む 運 動 を 展 開 し、 敵 を 追 い 詰 め て い る か ら」「今、 行 う べ き こ と は 組 織 拡 大 と 質 的 向 上、 役 員 と 組 合 員 の 一 層 の 団 結 強 化、 共 闘 強 化 だ」

こ れ ら の 訴 え に 学 び、 闘 う 労 働 組 合 が 中 心 と な っ て 改 憲 阻 止 ・ 安 倍 打 倒 の 闘 い を 巻 き 起 こ そ う。 憲 法 9 条 を 破 壊 し 戦 争 を や ろ う と す る 安 倍 政 権 に 対 し て、 「戦 争 だ け は 絶 対 に 許 さ な い」「生 き さ せ ろ」と い う 労 働 者 階 級 人 民 の 怒 り と 闘 い が 本 格 的 に 爆 発 し て い く の は い よ い よ こ れ か ら だ。

沖 縄 闘 争 を 闘 っ て 獄 中 44 年 ・ 無 実 の 星 野 文 昭 同 志 を 取 り 戻 す 闘 い は 決 戦 に 入 っ た。 こ の 間 の 四 国 地 方 更 生 保 護 委 員 会 へ の 申 し 入 れ と 11・25 高 松 闘 争 が 星 野 同 志 奪 還 の 現 実 性 を 示 し て い る。 獄 中 の 星 野 同 志 の 不 屈 の 闘 い は、 弾 圧 と 闘 う 関 生 支 部 や 全 学 連 と も 完 全 に 一 体 だ。 星 野 同 志 奪 還 闘 争 を、 辺 野 古 新 基 地 建 設 阻 止 ・ 全 基 地 撤 去 を め ざ す 沖 縄 闘 争、 改 憲 阻 止 闘 争 と と も に 大 発 展 さ せ よ う。

た た か ろ う だ う じ ゅ う さい せい と き
闘 う 労 働 運 動 再 生 の 時

安 倍 政 権 は 臨 時 国 会 で 改 憲 の た め の 国 民 投 票 法 改 定 を 狙 っ て い る。 連 立 与 党 の 公 明 党 は も と よ り、 国 民 民 主 党 も 「対 案」 提 出 と い う 形 で こ れ に 加 担 し、 改 憲 推 進 の 一 翼 を 担 っ て い る。 他 方 で 安 倍 は、 極 右 ・ 日 本 会 議 メ ン バ ー の 下 村 博 文 や 新 藤 義 孝 を 衆 院 憲 法 審 査 会 幹 事 に 据 え て 改 憲 に 突 き 進 む う と し た が、 下 村 は 「野 党 の 審 議 拒 否 は 職 場 放 棄 だ」 な ど と 発 言 し て 紛 糾 を 招 き、 20 日 に 解 任 さ れ

た。だが安倍は危機を深めれば深めるほど凶暴化する。このことを見抜いて闘おう。

またこの間、入管法改悪をめぐって、外国人技能実習制度の実態が次々と暴かれている。すでに二十数万人に達する技能実習生の置かれた現実は、まさに「現代の徴用工」だ。日本帝国主義の政府と資本は、この30年余りの間に、国内では国鉄分割・民営化以来の外注化・非正規職化で労働者の団結を破壊してきた。他方で、アジアをはじめ世界各地に進出し、現地の労働者を超低賃金であくどく搾取してきた。そうして得た莫大（ばくだい）な超過利潤で労組幹部を買収し、屈服させてきた。

技能実習制度の監理団体の役員には、麻生太郎をはじめとした政府・与党だけでなく野党の政治家も名前を連ねている。暴言を繰り返す麻生は、戦前、徴用工や捕虜を炭鉱で強制労働させた麻生財閥の息子であり、その実態は今も何ら変わっていないのだ。こうした搾取と腐敗の構造を打ち破る力は、闘う労働運動の中にこそある。

11月21日、東京・特別区の自治体労働者、特区連（特別区職員労働組合連合会）と東京清掃労組は人事委員会による史上最悪の大幅賃下げ勧告の実施を区長会に見送らせる大勝利をかちとった。職場の団結がよみがえり、ストライキで賃下げを絶対に阻止する労働者の固い意思が区長会を締め上げ、組合破壊の歴史的攻撃を打ち破った。闘いはこれからだ。改憲阻止・安倍打倒、会計年度職員制度阻止へ闘いぬこう。

国鉄分割・民営化と不屈に闘い抜いてきた動労千葉・動労水戸一動労総連合を先頭とする国鉄闘争は、今や最大の決戦を迎えている。JR資本は御用労組のJ R 東 労組すら解体して「労組なき職場・社会」に変え、安倍の改憲を支え

ようとしている。すでに J R 東労組からは 8 割が脱退、残った 2 割が 3 分解して来月臨時大会を開くが、資本はさらに屈服を迫るだろう。こうした中で、多くの青年労働者・関連労働者が動労総連合を意識し始めている。度重なる事故・安全崩壊と地方切り捨てへの怒りの声も広がっている。

さらに自治体労働者や教育労働者、医療福祉労働者などのあらゆる現場で、「労働者が闘って職場と社会を変えるしかない」と声が広がっている。今こそ闘う労働組合をすべての職場によみがえらせよう。

全世界で決起が始まった

18 日に閉幕した A P E C (アジア太平洋経済協力会議) は、93 年の開始以来初めて首脳宣言を出せずに終わった。それは米帝を基軸国とすることで成り立ってきた戦後世界体制の崩壊を示す事態である。ますます激化する米中対立の根底には、米帝の没落と世界大恐慌の再爆発の切迫がある。今年 2～3 月に続く 10～11 月の世界同時株安は、世界の資本家たちを震え上がらせている。彼らは他をたたきつぶして生き残り、労働者を搾取し続けるために絶望的に戦争に駆り立てられる。

日産自動車の代表取締役会長カルロス・ゴーンらが他の重役らの告発によって東京地検特捜部に逮捕されるという資本内クーデターも、自動車産業をめぐる国際争闘戦での日帝資本の敗勢が背景にある。ゴーンの主導下で仏ルノー社と提携して進めた海外市場への E V (電気自動車) 販売が伸び悩み、経営戦略が行き詰まる中で、社長・西川広人らはゴーンの切り捨てに踏み切ったのだ。だが、「コストカッター」などと呼ばれ大量の労働者の首を切りながら何十億円

という役員報酬やくいんほうしゅうを手てにしてきたゴーンだけでなく、他の重役連中た じゅうやくれんちゅうも今や労働者いま ろうどうしやの怒りいかの高まりたかに震え上ふる あがっている。

労働者ろうどうしやの国際連帯こくさいれんたいが日々拡大ひ び かくだいしている。韓国かんこくや欧州おうしゅうをはじめ全世界ぜん せ かいで労働者ろうどうしやがストた あに立ち上せ かいじゅう ろうどうくみあい だんけつがっている。世界中せ かいじゅうで労働組合ろうどうくみあいが団結だんけつして、自国資本じ こく し ほんに対してたいも外国資本がいこく し ほんに対してもたい闘たたかっている。そして多くおおの青年せいねんが分断ぶんだんの現実げんじつに向き合む あいながら団結だんけつを求めもとている。

渦巻うずまく怒りいかの声を結集こえ けつしゅうし、改憲阻止かいけんそし・安倍打倒あ べ だ とうをかちとろう。19年統一地方選ねんとういつ ち ほうせん
 ・参院選さんいんせんに勝利しょうりしよう。